



Navigation

[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Search

nvidia

検索



Login

ログインID:

パスワード:

☐

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



Fujimi_3_Haizara-Cho(Rinzo_Shimizu)

Search

nvidia

検索

Search results

2007-05-23

compizをインストールしたが...
Gnomeデスクトップ用にcompizをインストールしたが、いまいち設定がわからない。
10分ぐらいでできるかな、と思ったら甘かった。

Compizの情報源

[Compiz.org :: NVidia - Compiz](#)

```
shimirin@debian2:~$ glxinfo | grep "OpenGL version string:"
OpenGL version string: 1.5.3 NVIDIA 71.84
```

上の「71.84」が「96.31」以上だと楽。

23:55:00 - belle - No comments

2006-12-04

Ubuntuをインストールしてみる
「Linux World」最終号の付録CDの「Ubuntu6.10」をインストールしてみた。
とても簡単。こんなに簡単なLinuxは初めてだ。
BIOS設定でCD-ROMドライブをboot設定で最初にしてから（通常この設定にしておけばいいと思う）、電源を入れればたちまちライブCD画面が立ち上がる。これをインストールするアイコンがあるので、クリックすると、インストールされる。
Debian GNU/Linuxに慣れている人はさらに簡単な感じだと思う。



上はスクリーンセーバーを設定するところをThe Gimpでキャプチャしたもの。
X.orgを採用しているので、「/etc/X11/xorg.conf」を適切に設定する。
nvidiaのデバイスドライバをインストールするには（インストールしたマシンは GeForce 7600GT）、
shimirin\$sudo apt-get update
shimirin\$sudo apt-get install nvidia-glx
である。
あとは「xorg.conf」を、
Driver "nvidia"
に変更。
Default Depthがたぶん24になっているので、その部分に自分のモニタの最適な解像度を書きくわえる。たとえば「1280x1024」。ぼくは自分のモニタの最適な解像度のみにしてしまった。
あとは、モニタの説明書に載っている水平と垂直の走査周波数を適切に書くだけ。
「Ctrl+Alt+Backspace」でXが終了するので、再ログインすれば、「glxinfo」で「dri」（ダイレクトレンダリング）がyesになっている。

†

今夜はカメを放す機会を逸した。明日にしよう。でもなんかえさを食べはじめたようだ(^)。

23:32:46 - belle - 5 comments

2008-02-26

グラフィックカードのファンを替えてみる

今日、午前1:35ごろから1時間ぐらいサーバを止めた。
グラフィックカードのファンが劣化してきたようで、早めに取り換えることにした。
5分ぐらいで終わると思ったら諸事情で1時間ぐらかかってしまった。くわしくは、[うろこシティうなぎ12番地](#)に書いた。これからこういうケースは事前に予告するのをまめにしたいと思う。
nVidia 8600GTのカードを別の新しいマシンから入れておいた。異音はもちろんしなくなったが、このカードはパワーがサーバとしては必要以上にある。けっこう常時のファンの音は前のより大きくなったようだ。
取り出したnVidia 6600GTのカードの写真。かなりほこりがついていた。
ファンが劣化するまでに約2年半、少し短いような気もする。それで本体のほうは傷んでいないと思い、予備としてファンを換装した。それが2番目の写真である。



コーヒーメーカーが[[デロンギ]]などグラフィックカードの定番ファンが下の[[Zalman]]というメーカーが作るものらしい。ちなみにケースファンは[[山洋電気]]というメーカーが有名のようだ。たしかに静かなファンである。
22:50:38 - belle - No comments

2006-11-03

グラフィックボードの写真
昨日の写真の箱から出したグラフィックボード。Leadtek Winfast A7600 GT TDH(AGP 256MB)
FreeBSDに仮に差し込んであったグラフィックボードは、INTERPEED JN100/32Dというもので、いまや売ってないものだ。グラフィックボードはゲーマーが高くて買うのでどんどん発達しているように思う。



†

DRI(Direct Rendering Infrastructure)が有効かどうか確かめるには、

```
shimirin@debian2:~$ glxinfo
name of display: :0.0
display: :0 screen: 0
```

direct rendering: Yes ← ここがYesなら有効
server glx vendor string: NVIDIA Corporation
....

というようにglxinfoというコマンドを打つ。
kernel側のドライバではあまり種類がないし、nVidiaのボードがよく売っているの
で、Debian GNU/Linuxのnon-freeコンポーネントのドライバを使う。これについて
はblosxom blogのほうで書いた。
ただ、サーバにする場合には、kernel組み込みでないと、kernelのUpgradeのとき
に、ビルドする必要があるので、面倒な方は使わないほうがいいかもしれない。た
だ、高速3Dのssystemなどを見たりGUIの見栄えからいっても、やはりデスクトッ
プではdirect renderingは有効にしたい。

23:49:59 - belle - No comments

2007-04-22

孫のお宮参り
今日は世田谷八幡宮に、孫のお宮参りに行く。
朝から風が強い日だった。
息子のときと同じ神社だが、神主さんが出てきて儀式を執り行う感じ。





お宮さんの前のところの鯉のぼりを連続的に撮ってみた。

†

etchのネットインストのCDを作って、昨日の夜中インストールしてみたのだが、初めから日本語まわりが非常に調整ができていようになった（実際はlennyがインストールされた）。

このパソコンはとてもいいnVidiaのグラフィックボードを使っている。nVidiaのデバイスドライバを使わなくても十分なのだが、これはnon-freeコンポーネントに入っているはずなので、モジュールをビルドするつもり。これはblosxom blogやここにも書いているように、kernel imageがupgradeされたときに再ビルドする必要がある。このこともまたblosxmのほうに書いておこうと思う。

とりあえず、「/etc/hosts」に次の一行を追加して、LAN内からの灰皿町の名前解決をしてブラウザから見られるようにした。

192.168.0.8 www.haizara.net
（IPアドレスはLAN内環境合わせる。このIPは例）

次に、LAN内ファイルのやりとりにgftpをインストールした。これはWindowsのffftpのようなもの。

rootで、
apt-get install gftp
でOKである。

少し気が付いたことを書いておく。

testing段階のetchのcdからインストールしたら、「lenny」になっていた。「/etc/apt/sources.list」はlennyのupdate、upgrade用になる。これはぼくには好都合だが、testingの状態だったから、現在のtestingであるlennyのapt-lineになったのかな？

[[iceweasel]]（firefoxと同じ。でも動物としては対照的^^）の日本語まわりさえ、最初から適切に設定されている。

日本語inputメソッドが変わった。cannaでなくAnthyになった。変換効率はいいい（註：sargeの場合、日本語入力メソッドの設定は自力でする必要がある）。

しばらくほうっておくと画面ロックされるようになった。これはサーバ用途ならば解除したほうがいいかもしれない。席を離れてほかの人がいる場合、ユーザ以外動かせなくするためである。

USB1のXactiをUSB2のインターフェースから自動マウントされた。これはユーザにパーミッションを与えることがfstabに明記されていることを意味する。上の写真はそのマシンで取り込んでftpで取得したものである。

時刻調整のため、ntpddateをインストールしたが対象IPに接続できていない。なんらかのファイアウォールが動いているのかもしれない。これはいずれにせよ解決しなければならぬので、解決したら書くつもりです（灰皿町サーバは1日に一度、日本の代表的な時刻サーバの時刻と同期させているので正確な時刻が取得されています）。（4月24日記 勘違いで普通にntpddate 時刻サーバのIPアドレスとすれば同期しました。）

22:34:20 - belle - No comments

2007-05-31

compizをもう一度トライ

今度はオンボードのintel i915というチップセットで、compizができるということで、わざわざnvidiaのグラフィックカードを取ってやってみたら、またうまくいかない。

その後、灰皿町に新しく家を建てる南原充士さんのblogを作ってテストしているところ。

†

今日は、妻、mak*ちゃんと孫と親戚の90歳のおばさんのところに遊びに行った。夕刻、雷が鳴ってだいいづ降った。

23:59:00 - belle - No comments

2007-07-24

梅雨が明けた感じ。岡田すみれこさんの**blog**を作る
今日はカラッと晴れた。公式に梅雨明け宣言されたわけでもないが。
新しいパソコンは稼働が落ち着いたので、結局5台使えるパソコンがウチにあることになる。
常時稼働は灰皿町サーバとデスクトップの2台のLinuxマシンでいいのだが、Windowsマシンも動いている。
Debian GNU/Linuxのamd64版のlennyは、testingの日が浅いせいか、ソフトの不整合が見られる。たしかkernelは2.6.21なので、新しいグラフィックボードなど新しい部品の認識はetchより進んでいる。細かい不整合は徐々に修正されていくのだろう。nVidiaなどのサードパーティのデバイスドライバはまだ64ビット版はテスト段階のようなので、ダイレクトレンダリングを有効にできない。普通の686版でも2.6.18のLinux用しかない。
このところ新しいパソコンにのめりこんでいたので、ほかの遊びをあまりしなかった。探していた小型三脚を見つけたのでビデオをflvにする遊びや、宮沢賢治朗読を進めようと思っている。

†

岡田すみれこさんのbloxom blogを作った。ちかぢか家のほうも「公園11番地」なので、できると思います。

23:59:00 - belle - No comments

2006-11-08

FreeBSDの再インストール

FreeBSDを午前中、2時間ぐらいかけて再インストールした。
[[nVidia]]のGeForce 7600GTというグラフィックボードのデバイスドライバを適切にインストールするには、まだ、nVidiaのサイトから圧縮ファイルをダウンロードして解凍し「make install」し、さらに、「/etc/X11/」に作った「xorg.conf」を書き換えたりしなければならなかった。これは夜帰ってきってからやった。
やったことについてはb2evolution blogのFreeBSDの項目に書くつもりである。
というのも、GeForce 7600GTのチップを使ったグラフィックボードを今買う人が多いかもしれないし、これをFreeBSDで使うためにいろいろな手続きを踏んでもせっかく買ったのだから、その力を最大にもっていかないともったいないと思うから。
このFreeBSDをインストールしたマシンなら、いろいろ特殊な遊びをしてもサーバにはしないのでゆったりできる。たとえば先だっの「flvファイル」を作るためにffmpegをオプション付きでビルドできればサウンドも有効になると思う。

†

「Linux Journal」のDECEMBER ISSUEでは、「Editor's Choice 2006」という特集をやっている。
Linux Distributionでは[[Ubuntu]]6.06が選ばれている。このディストリビューションは出自がおもしろい。「End-User or Non-Technical Book」の項目でも「Beginning Ubuntu Linux」が選ばれている。これはすでに翻訳があるかもしれない。
「Office Suite」では[[OpenOffice.org]]2.0.3。Microsoft Exelはよく仕事などで使われるだろうが（ぼくは必要ないが）、エクセルのファイルも読みこめる。プレゼンテーションから、ワープロ、ドローソフトなどいろいろ組み合わせられている。細かくは「Spreadsheet」の部門で「OpenOffice.org 2.0.3 Calc」、「Presentation Software」で「OpenOffice.org 2.0.3 Impress」が選ばれている。
「Desktop Environment」では[[KDE]]3.5.4である。これは今もこのデスクトップで使っている。FreeBSDのデスクトップもKDEである。
「Word Processer」部門では[[AbiWord]]2.4.4。通常Linuxでワープロは使わないのでよくわからないが、日本語でこのワープロを使ったことがある。
「Web Browser」では[[Firefox]]1.5.0.6。ぼくはメーラーと組み合わせさせた[[Mozilla]]を使っているが、同じようなもの。「Mail Client」もMozillaから分かれた[[Thunderbird]]1.5.0.5。
「Database」は[[PostgreSQL]]8.1.4。灰皿町ではMySQLを使っているが、PostgreSQLを使うこともできる。
「Language」は[[Ruby]]1.8.5。ぼくも学ぼうとしている。
「Security Tool」はNovell AppArmor。これについてはよくわからない。
「Game/Entertainment Software」部門では[[Quake]]4。これは英語なのでよくわからないが、LinuxにもFreeBSDにも簡単にインストールできるようである。
「Web Server」部門は[[Apache]]2.2。これは当然のような感じ。灰皿町でApache2系を使わないのはPHPとMySQLのバージョンによる。
あと8つあるが、また明日(^)。

23:23:42 - belle - No comments

2007-05-28

バックアップスクリプトをプリント
サーバをDebian GNU/Linux sargeからetchにするときには、次期サーバにする予定

のマシン（つまり今これを書いているデスクトップ=etch）に完璧にwebコンテンツはバックアップしておかなければならない。万が一のときにすぐにサーバを替えることができるようにするためである。

とはいうものの98%ぐらいは毎日勝手にマシンがやってくれている。これは、シェルスクリプトに書かれた簡単なプログラムをcronという実行予定のプログラムに登録してあるからだ。

これに残りの2%を書き加えればいいが、細かい部分で忘れていることがあるので全部プリントアウトして地下鉄で眺めた。

勝手にやってくれる転送プログラムはrsyncというが、これに関連するopenSSHの本は自宅サーバをやっている方はかじっておいたほうがいいと思う。それで、設定ファイルをプリントしておくべきだ。

ということで、さらにプリントすべきものは、SSHの設定ファイルとPHP4の設定ファイルなので、これもちかぢかプリントするつもり。

†

今日は気温が昨日より2度ほど下がっていた。夜たばこを買いに歩くと、半袖なので少しひやっとする。

compizを使うために、nVidiaのグラフィックカードのデバイスドライバをupdateすることは可能のようで、ちょっとやるかなと思ったがここは我慢のしどころ。暇なときに別のマシンにubuntuをインストールしてやってみることにする。

23:57:00 - belle - No comments

2015-10-03

朝焼け

昨日、遅くまで新マシンを動かしていたのに、早起きしてしまった。

というのも解像度がディスプレイの設定で上げられなかったので、直したかったのもある。

朝早い東の空。



新マシン（Debian8 jessie）の調整●001

[[GT730-SL-2GD3-BRK]]というIPCExp 2GのNVIDIAのグラフィックカードを使ったのだが、[[nvidia-driver]]が必要だったようだ。

「/etc/apt/sources.list」の各行のmainの後に、「contrib non-free」を追加し「apt-get update」。

次に、「apt-get install nvidia-driver」とするが、うまくインストールできない。

「xorg.conf」が「/etc/X11/」ディレクトリにないと設定が終わらないようなので、xwindowを終了してから（ctrl+alt+F2）

Xorg -configure

とするとrootのホームディレクトリに「xorg.conf.new」ができていますので、

mv xorg.conf.new /etc/X11/xorg.conf

とxorg.confの名前にして移動、rootからuserに戻り、xstartでうまくいく。通常「xorg.conf」はディレクトリにないが、もしあったら古いのはバックアップしておいたほうがいい。

あと[[gFTP]]がなぜか正式Packageにない。wheezyにもtestingのstrechにもあるのに、jessieにない。

wheezyのupgradeでjessieにした場合は問題がないが、まっさらでjessieにするとすぐにインストールできない。

これはwheezyのgFTPをインストールすればいいようで、[電算機孝行: Debian Jessie に GFTP をインストール](#)のとおりにしたら、インストールされた。

いいね！

シェア

5人が「いいね！」しました。Facebookに[登録](#)して、友達の「いいね！」を見てみましょう。

23:40:00 - belle - No comments

2006-11-05

新しいグラフィックボードでハマる
FreeBSDマシンに、Leadtek WinFast 7600 GT TDHを装着したら、X Windowが起動しなくなった。
ここから泥沼にはまった。そもそも、XOrgのデバイスドライバにこの新しいデバイスのものがないようだ。nVidiaのデバイスもPortsインストールできるのですが、さんざんいろいろやっているうちに訳がわからなくなった。FreeBSDのシステムをよく知らないのが理由だ。
ただインターネットで調べてみるとデバイスドライバは自分でビルドできるようだ。しかし、すでにぐちゃぐちゃになってしまったので、だめみたい。
FreeBSDでは、ソフトウェアのUpgradeは稼働するマシンでコンパイルされる。Debian GNU/Linuxのようにapt-getでバイナリ版を合わせるのではないので、一つのソフトウェアのUpgradeでもけっこう時間がかかる。どうもシステムから再インストールする羽目におちいったようだ。
これもずっとFreeBSDマシンを触っていなかったせいもある。FreeBSDでは毎日Portupgradeをするのが普通のようだ。cronでやるのだろうが、やはり常時稼働が原則であるようだ。

23:19:52 - belle - No comments

2008-07-24

秋葉原のペンギン
帰りに秋葉原を通して帰った。
珍しく新マシンに刺激を受けない今年だ。
Linuxサーバとしては、nVIDIAなどのグラフィックカードの進歩もあまり必要ないし、Windowsで重いゲームをやるわけでもない。サードパーティなので、Linuxの進歩に沿ってデバイスドライバをどんどん新しくしているわけでもない。
地デジ用のカードも売っているが、これもWindows用でしかもモニタに制約がある。モニタに地デジチューナーも組み込んであるものがあるが、これはいざテレビを見ないととなると、無駄な電気が流れるような気もする。
EeePCなどのミニラップトップパソコンには興味があるが、英語版のLinux版でいいので早くWindows版でないものを発売してほしいものだと思っていたが、このごろはどこに行ってもパソコンは置いてあるし、だいたいインターネットに繋げない場合にはあまり意味がない。自由に繋げるようにするには、新たな接続契約が必要だろう。ただ、Linuxをインストールしたラップトップを持ち歩けば、PCUNIXのすごさを見てもらうときには便利そうだが。
まだVistaの64ビット版を使っている方は少ないだろう。そこからいうと、Debian GNU/Linux lennyの64ビット版で6Gのメモリを装着して次期サーバに備えてデスクトップで遊んでいるのは最先端と自画自賛(^;:))。
とはいうものの秋葉原はやはり楽しい街だ。



21:56:31 - belle - No comments

2016-03-18

新パソコンで使った部品
新サーバはやはり速いような感じ！
今日は夜になって雨が降っている。いよいよ暖かくなってきたが、まだ寒い日があるので冬のコートはしまってはダメと天気予報で言っていた。

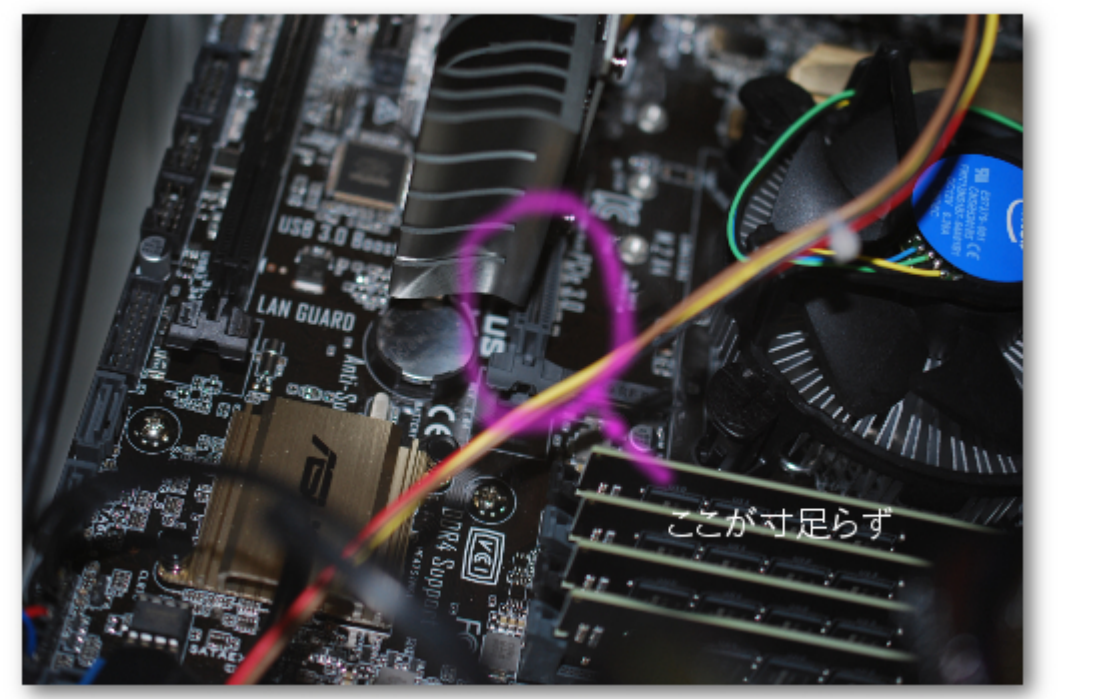
†

パソコン自作 **Tips** その**12** 使った部品

CPU-----[[Core i7 6700 BOX]]

メモリ-----[[W4U2133PS-8G DDR4 (PC4-17000) 8GB 2枚組]] 2セット
マザーボード-----[[Z170M-PLUS]]
グラフィックカード-----[[GT730-SL-2GD3-BRK(PCExp2G)]]
SSD-----[[Transcend SSD370S 512GB]]
Blu_rayディスクドライブ-----[[東芝サムスン SN-506BB バルク]]
電源変換セットコネクタ-----[[アイネックス Slimline SATA電源変換セットコネクタ SLS-3005SA]]
電源ユニット-----[[Seasonic SSR-650RMS]]
ケース-----[[Lian-li PC-V359WA]]

グラフィックカード「GT730-SL-2GD3-BRK(PCExp2G)」は基本スペックを見ると、
搭載チップ-----[[NVIDIA GeForce GT 730(64bit DDR3)]]
バスインターフェイス-----[[PCI Express 2.0 x8]]
とあり、マザーボード「Z170M-PLUS」は「PCI Express 3.0(GEN3)」をサポートしているので、性能的には下位であるが下位互換性がある。
写真のように寸足らずでとても不安になるが、このマザーボードで動く。



パソコン自作 **Tips** その13 **Debian jessie**での**NVIDIA**チップの問題

通常サーバ用途ならグラフィックカードはこのマザーボードではいらない。この構成でグラフィック機能にかなりの実力がある。
普通に、マザーボードの3種類のコネクタから適合して選びたい種類のものをディスプレイとケーブルでつなげる。ケースのスペースに余裕があるのと、負荷が分散するので使っている。ただし、忘れていたが、NVIDIAのグラフィックカードを使うとちょっとインストールするものがあつた。それに、viでxorgの設定ファイルを加筆する必要があるので、グラフィックカードは使わないほうが楽かもしれない。
下の記事と同じようにやったらうまくいった。

[Debian jessie にNVIDIAドライバーをインストールする。 - Cults !!](#)
[NvidiaGraphicsDrivers - Debian Wiki](#)

設定ファイルの作成に「echo -e」というコマンドを使っている。何のことかわからないかもしれないが、このとおりやって、再起動すると解像度が適切になっている。ぼくの場合は「apt-cache search nviadia」でドライバを探し、リンクページのとおりを設定した。

 いいね！

 シェア

3人が「いいね！」しました。Facebookに[登録](#)して、友達の「いいね！」を見てみましょう。

22:29:15 - belle - No comments

2007-06-07

etchを使い始めてしばらく経った
デスクトップをsargeからetchに上げて、使い勝手はだいぶよくなったように思う。
ブラウザのiceweaselはfirefoxの2と同じなのだが、RSSリーダーなど進歩している感じ。
flashのpluginなどもクリックしただけでインストールされるようになった。前は、ファイルをダウンロードしてpluginモジュールをブラウザのpluginディレクトリにコピーする必要があつたが、flashの場合はそれがなくなつた。
ただ、ほかのブラウザにも慣れておく必要もある。
skypeもインストールしてもいいが、ekigaが初めからインストールされている。
デスクトップといっても、テストサーバも兼ねているので、その面ではApache1.3系やPHP4はそのまま継承され、MySQLは5になった。それでもいまMySQLを使っているblogは問題ないようである。blosxom blogはもともとデータベースを使って

いない。
compizは、たぶんBerylと統合されるので、使いやすくなってくるだろう。ただ、nVidiaのカードは推測だがopenGL2.0対応のカードなら/etc/X11/xorg.confの設定だけで動くようになるが、openGL2.0対応というと価格コムなどを見るとまだ高級カードなのかな。
core 2 duoのマシンを作るときには、compizをそのまま使えるカードにしようと思うが、サーバを兼ねているのでモジュールを手動で手続きを踏んで作るのはちょっと面倒。もし、古いカードでの対応が進めば、使って問題が起きることはないので使ってみたいもの。

23:57:00 - belle - No comments

2007-05-15

デスクトップマシンを**sarge**から**etch**に**upgrade**
Debian GNU/Linuxをetchからsargeにupgradeした。
結局半日を費やしてしまった。
ハマったのはXorgの設定部分。でも下のようにKonquerorでアルバムviewができたのがうれしい。
KDEは3.5.5。The Gimpなどもupgradeされて、PHP4やMysqlも問題なくsargeを継承した。



†

sargeからetchへupgradeするときには、[リリースノート](#)を熟読すべきだ。ただ、それだけでは日本語の問題があるので十分とはいえない。
下はぼくがやったことだが、これはあまり参考にならないかもしれない。
ただ最終的に成功したので、書いておく。2段階のupgradeをする。

まず最初の疑問は、rootになってgdmを止めたとき、まだxsessionにいるのかどうか理解できない。でもコンソールにしなければいけないので、gdmを止めた。
「/etc/apt/sources.list」のsargeをetchにviで替えるところから始まりである。

`#/etc/init.d/gdm stop`

すると、Xはいちおう終了するので（セッションのなかにまだいるのだろうか。よくわからない）、基本的なプログラムをupgradeする。

`#aptitude update`

このとき警告がたくさん出るが、もう一度同じコマンドを実行すると出なくなる。

`#aptitude upgrade`

ここでだいぶいろいろダウンロードされる。次に、

`#aptitude install initrd-tools`

を実行。さらに完全なデスクトップシステムがインストールされている場合、

`#aptitude install libfam0 xlibmesa-glu`

を実行する。ただし、これを行う前に、

`#dpkg -l libfam0c102 | grep ^ii`
`#dpkg -l xlibmesa-glu | grep ^ii`

を実行して確かめておく。
次にkernelだけをupgradeする。

`#aptitude install linux-image-2.6-686`

デスクトップなら、たいていこれだろう。686の部分は486の人もあるはずである。
ここでようやく、

`#aptitude dist-upgrade`

を行い、

#aptitude update

を実行しておく。次に、nvidiaデバイスドライバをインストールしようとしたが（nvidiaのdriを使わない人は不必要）、jfbtermの実行コマンドjcだと文字化けする。基盤がutf-8になったからだろうか。

#LANG=C

を実行しておく。ここで、

#m-a a-i nvidia-kernel-source

を実行したが、結局あとでまたこれをやることになった。このへんからぐちゃぐちゃなので参考にしないでいただきたい。

#shutdown -r now

を実行してrebootしたが、Xが立ち上がらない。たぶん、LANG=Cにせずにupgradeを実行したときに、デスクトップがインストールされていないエラーに気づかなかったのだと思う。
この時点で、Apacheは稼働している。Apacheは再起動の時間以外は動いていた。ただ、Mysqldが動いていなかった。SSHは動いていて、基本的なインストールは成功したと思った。
ここでXorgをもう一度インストールしようとしたが、tcsh-kanjiかな？がなにかエラーを出して止まってしまう。また、リリースノートによると、/usr/X11R6/binは削除されusr/binへのシンボリックリンクが残っているだけと書いてあって、対処の仕方が書いてあった。
ぼくはここで、
/usr/X11R6/bin#rm *
ということを強行した。これはたぶん推奨されない。これを読んだ方は、確実にXセッションからはupgradeしない方法を見つけてください。
それで、

#dpkg --purge tcsh-kanji

だったかな。エラーを吐く ソフトを無理やり削除した。
それからXorgがインストールできて、再設定。/etc/X11/にxorg.confがあるので、これをviで編集する（というか#xorg -configureでできた、xorg.conf.newをxorg.confとして/etc/X11/にコピーして編集する。水平、垂直周波数は継承された記述になっていた）。
この時点でXは立ち上がろうとしたが、じつはデスクトップ環境はupgradeインストールされていなかった！
それで、

#apt-get install kde kde-i18n-ja
#apt-get install gnome
#apt-get install gdm

とすると、upgradeインストールに成功！

23:53:35 - belle - No comments

2008-10-20

CUDA、立原道造「あひみてののちの」の朗読**2**回目

少し前から話題になっていたようだが、Linux Journal 11月号を見ていたら、[[CUDA]]のことが出ていた。
CPUからどんどん発展してきたGPUの並列計算能力を使うことで、処理能力を一気に上げるとのことらしい。Wikipediaなどに説明が出ている。たとえばなにかの動画のエンコードだ。この時間を一気に縮めることができるようだ。
[CUDA Zone](#)
にスピードアップの例が出ている。Linuxだけでなく、WindowsやMacにもインストールできる。なんだかまだよくわからないが(^;;)、ぼくの使っているnVidia geforce 8600GTなら、CUDAを使ってみることができる。

†

昨日にひきつづき、立原道造「あひみてののちの」の朗読の2回目の録音をした。

[「あひみてののちの」3、4](#)

である。

22:50:59 - belle - No comments

2008-10-07

場数を踏む、グラフィックボードの写真
パソコン自作の経験値 その**9**

11. 場数を踏む

ぼくはパソコン自作に失敗したことがない。
組み立ては要領を得ていれば、夕方部品を買ってきて、夜中までにはOSのインストールまでできる。
組み立て自体は、プラモデルより簡単で、プラスドライバ1本でできる。
かといって自慢しているわけではなく、誰でも普通失敗しないと思うのだ。
最初は秋葉原のパソコン専門店で、店の人がよく知っているので、ひとそろえ集め、ケースだけは配送してもらおう。地下鉄で全部持ってきたこともあった。電車の入口の角のところに置ければいちばん運ぶのにいい。
何回も作り、そのうちにインターネットなどで情報を集めると、部品の選び方もわかってくる。
WindowsのOSなどはOEMで、安く買える。DVD1枚だが。
Linuxの場合はディストリビューションを選んで、ISOイメージをCD-Rに焼いておく。あるいはLinux雑誌に付録でついていることが多いので、それを利用する（たいていDVD）。
Linuxをインストールするときには、ここでひっかかるかもしれないが、このごろのLinuxは日本語でインストールしやすくなっていて、しかも速い。
ぼくのおすすめのディストリビューションは、Debian GNU/Linux、Ubuntu、CentOSである。Webサーバに将来したい場合にはDebian GNU/Linuxがおすすめである。その他のものでもいいが、これで1年ぐらい遊ぶとだいぶわかってくる。

12. グラフィックボードの写真

[[Winfast PX6600 GT TDH 128MB]]の写真である。
ファンレスのものもあるが、ファン（GPUクーラー）が付いているものは、ファンが劣化するのは避けられない（このグラフィックボードのファンの場合、サーバに入れていて、24時間稼働で4年ぐらいもった）。
写真のは、ファンをZalmanのものに付けかえたもの。ファンが劣化して非常にうるさくなったので、付け替えた。そのとき、8600GTのものをさしたのでいま余っている状態。

搭載チップ NVIDIA GeForce 6600 GT
メモリ GDDR3 128MB
対応バススロット PCIExp 16X
モニタ端子 D-SUBx1 DVIX1

であるから、例に挙げたマザーボードで使える。
ただし、これは一世代前の型番。



22:48:11 - belle - No comments

2009-05-09

Debian GNU/Linuxをetchからlennyにupgrade

デスクトップパソコンをlennyにupgradeしてみた。
うまくいったのだが、再起動のときにfsck（30回起動すると自動的に行われる）がされて、「duplicate or bad」なんとかとか出て70パーセントぐらいで止まってしまう。
仕方なくKnoppixのディスクから起動して、[[fsck]]を実行して修復した。
で、まだ「/etc/X11/xorg.conf」の設定が新しいnvidiaドライバのインストールが終わっていないのでできていない。あと30分ぐらいでできるかどうか。
それにしてもHDDが多少は傷んできたのかなあ。

（2時間後記）
Xorgの設定は完全に(?)自動化されたようだ。
「/etc/X11/xorg.conf」はほとんどこれといった特別な記述を必要としていない。
フォントパスの記述もない。ホイールマウスは自動検出され、Xorgに反映されている。

shimirin@debian:~\$ uname -a
Linux debian 2.6.26-2-686 #1 SMP Thu Mar 26 01:08:11 UTC 2009 i686 GNU/Linux

SCIMの設定がまだよくわからなくて、「無変換」で確定できないが、とりあえず上のようにupgradeは成功した。
それより不良セクタを修復する必要があったのが気になる。

23:57:00 - belle - No comments

2007-05-25

compizとBeryl

この2つは統合されていくということらしい。
[[compiz]]をnvidiaで動かすには、どうもまだnon-freeのnvidiaのsourceでは駄目な感じ。
これを実現するために、Debianのpackageより上流モジュールを使うと、upgradeのときに面倒に思う。正式packageの外に出るとサードパーティのものをを使うということで、サーバの維持には向いていない。
しかし、nvidiaのsourceはupgradeされていくだろうと想像されるので、そのうち、/etc/X11/xorg.confの設定だけで、compizが使えるようになると思う。そのときまで待つのが正解かな。
CPUの温度は、今のマザーボードの場合、
cat /proc/acpi/thermal_zone/THRM/temprature
で確認できることがわかった。でもこれは、どのあたりの温度なのだろう。よくわからない。YouTubeでのLinux compizのデモビデオ。



↑

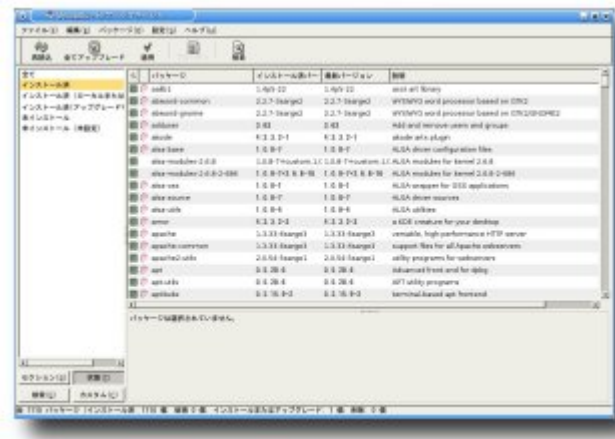
今日は一日中、雨。それまでは曇りだったのだが、カオスの散歩の後、激しく降ってきた。雨だとカオスの散歩がゴミ袋をレインコートの代わりに着せたり大変なのでラッキー。

23:58:00 - belle - 2 comments

2007-01-22

Synapticによるupgrade

昨日書いたabortingされる、xserver-xfree86のPackageのupgrade失敗には、まいてしまった。
実際、サーバのほうは40以上のものが問題なく更新された。
apt-get upgrade
のコマンドですべて終わるはずが、「事前設定しています」で止まってしまうので、仕方なくCtrl+cを押して中断する。
そこで、とりあえず40以上あるもののうち、upgradeが問題なくできるものをupgradeする方向にした。
Synapticは初めて使うが、下のようなGUIツールである。初めにrootのパスワードを聞かれる。apt-getと同じことをやるので、root権限で実行しなければならない。



画面は字が小さくてわかりにくいがインストールされているソフトウェアが表示されている。
それでupgradeできるソフトの一覧を表示させるボタンがあって、それを表示させる。次に右クリックして、更新のチェックをする。このとき、依存関係のupgradeソフトウェアが表示されるので、OKを押して一緒にupgradeする。「適用」を押す

と、いつものコンソールの表示「事前設定」、新しいプログラムへの置換が終わる。

次々にこの操作を行い、ついにxserver-xfree86ひとつに残った。

この停滞の理由は保留 (kept back) とは違う。保留は依存関係からupgradeされないの、ほかに理由があることになる。保留の場合は、

```
apt-get -u dist-upgrade
```

でうまくいく場合がある。しかし保留の場合は、神経を使う必要がある。たとえば kernel-imageが新しいものができた場合のupgradeが保留される場合である。この場合、ウチにかぎっていえば、nVidiaのデバイスドライバを使っているの、再コンパイルする必要がある。これについてはbloxom blogに書いた。要するになぜ保留されるのかを理解したほうがいい。

またkernel-imageを替えるのだから、「準備できてますか？」という注意でもある。

今回の場合、考えられるのは、

- 前回のupgradeのあと、xserver-xfree86に絡む、正式Packageでないものを入れてひっかかる理由ができた。正式リポジトリでないものは、lameをインストールするときだけだった (lameがupgradeする前の現在のものに依存している?) のだが、それが、前回のx window関係のupgradeの後かどうか忘れてしまった。
- バグ

でも、これひとつ残って光明が見えてきた！(^^)

これを右クリックすると、推奨プログラムの名がいくつか出てきて、このいくつかを追加する場合は削除されるものがあるという表示が出る。ちょっとまだよくわからないが、とりあえずは、ひとつが残った状態にはなった。よくわからないので、もっと調べてからこの最後の操作をするか決定する。

apt-get upgradeはサーバ維持の重要な作業のひとつなので、これをほうって遊べないところがある。

参考サイト：[第6章 Synapticによるパッケージ管理](#)

23:43:57 - belle - No comments

2006-01-09

新サーバ順調

新サーバマシンは順調である。

とはいっても1年近くデスクトップマシンとして稼働していたのだから、問題は新マシンにちゃんとバックアップされているかということだけだった。

回線強化のときには、どうしてもサーバを1時間ぐらい停止しなければならない。

じつはサーバはVine Linuxというディストリビューションを使っていたが、PHPの問題があった。バグフィックスされる対象のバージョンにすると、PHPのバージョンも上がってしまうのだ。たぶん、べつになんともないかもしれない、という思いがあったが、PHP5はPHP4の下位互換性がない部分がほんのすこしあるらしい。高度なことをやっているわけでもないの、問題は起きないだろうが、少し不安。もちろん、Vineのバージョンを上げてからPHP4を新たにインストールするということはできるが、むしろ問題が起きないDebian GNU/Linuxにしまえ、ということになった。

Debian GNU/Linuxでkernelのupgradeのとき唯一問題だったのは、non-freeコンポーネントのnVidiaのビデオカードドライバだ。これはkernelをupgradeしたときには、新たにインストールしなおす必要があった (もしかしたら、/etc/X11/XF86Config-4の「Section "Device"」の項を書き直すだけでいいのかもしれない?)。もし、サーバのみに使うのなら、べつにビデオカード最大のパワーを引き出す必要もないので、インストールしなくていい。

もしDebianならば、この点を除けば、半永久的に (マシンが壊れるまで) 問題がないのではないか、ということである。

もちろん、kernelのマイナーバージョンアップならば、たんに再起動すれば終わりである。これは半年に1度ぐらいかな、おそらく。

Vine Linuxは優れた日本発のディストリビューションである。とくに最初から日本語環境が整っていて、TeXの環境がいいらしいので、数式をプリントしたい理系の学生にはもっともいい選択肢だろう。Linuxは全部、webサーバに向いている。どれを選んでも大丈夫だが、長年使うためにはソフトウェアの長期的なバグフィックスが重要だろう。この点において、Debian GNU/Linuxは自宅サーバにもっとも向いている、というのがぼくの結論である。

11:08:00 - belle - No comments

2007-07-22

64ビット版Debian GNU/Linuxをインストールする

孫を見に行った帰りに、下の写真のような柄の猫が2匹いた。

「●●ちゃん」と呼ぶ近づいてきて、ごろんと腹を出してみせた。しばらくすると、近くの家から人が出てきて、2匹の猫を呼び玄関から入っていった。



†

下のURLからCDのISOイメージをダウンロードして、lennyのamd64版のインストールCDを作った。
[Index of /cdimage/daily-builds/daily.new/20070722-1/amd64/iso-cd](http://cdimage.daily-builds.daily.new/20070722-1/amd64/iso-cd)
debianの公式サイトによると、

- Debian 4.0 (etch) のリリースから、AMD64 は公式にサポートされる Debian アーキテクチャとなりました。
- 同移植版は、AMD64 拡張付きの AMD 64 ビット CPU 用および EM64T 拡張付きのすべての Intel CPU 用のカーネルと、共通の 64 ビットユーザ空間で構成されています。

とある。
今日の版だが、インストールしてみると、hda1の認識が問題なくインストールされた。64ビット版の力を引き出せるものだ。下はISOイメージCD。約150M/バイト。
「debian-testing-amd64-netinst.iso」。



実際、いやに速い。それに、「nvidia geforce8600GT」のドライバは、標準で「nv」で使えるようである。ダイレクトレンダリングを有効にするプロプライエタリデバイスドライバはこのボードに対応するものがまだないようである。正確にはkernel2.6.21-2ではない（もっと下のkernel）kernel-headersを使えば、コンパイルできるがいろいろと面倒なのでまだやらない。
あとflashがまだLinuxの64ビット版に対応していないようだ（かもしれない）。
21:22:57 - belle - No comments

2008-02-11

パンくず（**breadcrumb**）と、街角の月
今朝、サーバをマイナーアップグレードした。いつもnvidiaのデバイスドライバがサードパーティ製ということで、やることを迷うが、再ビルドは「apt-get」でやってくれることがわかった。Debianユーザで興味のある方は詳しいことをblosxom blogに書いておいたのでごらんください。
昼過ぎに床屋さん（美容院？）に行ったら2時間近く待たされてしまった。図書館で借りた長岡鉄男のスピーカーの本をぱらぱらめくるつもりでいたが、結局ほとんど読んでしまった。
床屋さんから出るとビルの間に月が出ていた。



†

[中原中也全詩篇](#)などの灰皿町ラジオのページにために「パンくず案内」をCSSファイルでつけてみた。本のサンプル（『[[CSSクックブック]]』を利用しただけだが(^^;;)。こういうパンくず落としは、もういろいろと増築した段階のページはほとんど意味がないし堅くなるかもしれない。部分的に便利なところには「パンくず案内」を入れていくやり方を覚えたので使っていくかもしれない。

22:43:44 - belle - No comments

2008-02-25

サーバの音の正体

先日からしているサーバから出る音の正体がわかった。
しばらくほうっておこうと思ったが、たまに音がするのが気になり、稼働中のサーバの横を開けた。
ひょっとして上部から下に向かっている大きなファンにケーブルが接触しているかもしれないと思ったのだった。
懐中電灯で照らすと、PCI Express x16のnVIDIAチップのファンから音が出ているのがわかった。これはちょっとまずいな。
グラフィックカードはデスクトップも兼ねているので、ファンレスのものでなく、けっこうその時点ではいいものを使っているのだが、ファンが止まってしまうとまずい。いいものというのはつまり熱を持つといってもいい。それをグラフィックカードに付いている専用ファンで冷却しているわけである。
このマシンは約2年半電源は入れっぱなしである。その間、一度全分解したがサーバに切り替えるまではデスクトップとして使っていた。
そのこと以外にはまったく問題はなさそうだが、一度サーバを止めてグラフィックカードを差し替えるかもしれない。

23:57:38 - belle - No comments

2008-03-02

午後太陽にかかった暈、宮沢賢治朗読を追加する

サーバのグラフィックカードをnVidia 8600GTに替えて、多少部屋のノイズが多くなったかな、と思って測定したら前と同じぐらいだった。
午後、金物屋かホームセンター（インターネットで検索したら近くにあることがわかった）に行こうとしたら、日曜は休み。歩いていたら、太陽に暈がかかっていたので携帯のカメラで撮る。



†

宮沢賢治の『春と修羅第二集』の朗読を録音、追加する。
[亜細亜学者の散策、〔温く含んだ南の風が〕、〔この森を通りぬければ〕、〔ほほじろは鼓のかたちにひるがえし〕、〔北上川はけい気をながしィ〕](#)

である。「宮沢賢治全作品朗読」のページは文字コードがUTF-8だが、ここはEUC_JPなので、題の「けい気」のけいをひらがなにしておく。

21:34:48 - belle - 3 comments

2008-09-12

イナゴがいた
今年は気候のせいかな昆虫が活発なような気がする。
ー昨日の多摩川川原でのイナゴの写真。



今この文章は、Debian GNU/Linux lennyのパソコンで書いているが、etchのデスクトップパソコンの2つの前面ファン（8センチ？）を替えようかな、と思っている。背面ファンと天井部分のファンを替え、あまり気にしていなかったがかすかに前面ファンの雑音がするような感じ。
もう4年ぐらいほとんどつけっぱなしである。その間、取り換えたのは背面ファンと上部ファンのみ。あっというまに時間がたつ。HDDは問題なくて、前面ファンを新品にすれば、このまま次代のサーバにできる。
全面的にリニューアルするとすれば、HDDを750Gのサーバ用HDDにして、普通のAGPスロットに入るグラフィックボードがあれば、ファンレスのものが安くなっているのでnVidia Geforce8600GTのものに取り換え、メモリをあと1G足して2Gにし、念のため電源ユニットを新品に取り換えるぐらいかな。
しかし、これを書いているマシンがたぶん次代のサーバになると思う。

20:45:33 - belle - No comments